

●自然災害 日本を襲う

今年8月、集中豪雨により広島県で土砂災害が発生し、住民に深刻な被害をもたらした。また、その翌月には長野県と岐阜県の県境にある御嶽山が噴火し、登山者が命を落とした。

●感染症 世界を襲う

本来熱帯付近で流行していて、蚊(ヒトスジシマカ)がウイルスを媒介する病気、デング熱が東京の代々木公園を中心に日本国内で感染が確認された。また、西アフリカを発端としてエボラ出血熱が世界的に猛威をふるい、スペインやアメリカで二次感染が確認された。

●日本人 ノーベル賞受賞

赤崎勇さん、中村修二さん、大野浩さんたちが、青色発光ダイオードの開発の功績を認められて、ノーベル物理学賞を授賞した。

●日本人 スポーツで大活躍

ロシア・ソチオリンピックのフィギュアスケート男子シングルフリーで羽生結弦選手が金メダルを獲得した。男子テニスでは、錦織圭選手が4大会で初の決勝進出を果たすなど活躍をみせた。

●政治・経済を振り返って

安倍晋三首相は消費税率を引き上げて(5% → 8%)、経済に大きな影響を与えた一方で集団的自衛権の行使容認を閣議決定し、安全保障体制を大きく変えた。また、内閣改造により地方創生担当大臣の設置や女性閣僚を登用したが、小淵優子前経済産業大臣や松島みどり前法務大臣がすぐさま辞任した。そして、外交面では中国(中華人民共和国)の習近平国家主席と日中首脳会談を開催した。そして、12月、国民に信を問うため衆議院を解散した。

●ディズニー映画 大ヒット

「アナと雪の女王」とその主題歌が流行した。

●拉致問題 大きな進展

北朝鮮(朝鮮民主主義人民共和国)が拉致問題に対して新たな調査を行うことを約束した。

●危険ドラッグ

危険ドラッグの使用が絡む自動車事故や事件が各地で多発した。

●問われる倫理観

理化学研究所の小保方晴子元研究所のS.T.A.P細胞に関する論文でねつ造等が見つかって以来、検証実験が行われていたが、実験でS.T.A.P細胞は作製できなかった。

作曲家の佐村河内守氏が、ゴーストライターに作曲を委託していたことが発覚した。

兵庫県議会の野村竜太郎元議員をはじめ、地方議員の政務活動費に不自然な支出が確認された。

●今年のニュース“50”

全国高校軟式野球の準決勝で高校生が延長50回を投げ抜いた。

今年は東京オリンピックの開催と東海道新幹線の開通から50年目の年だった。

●変化する世界情勢

中東にイスラム過激派武装組織のイスラム国が勢力をのびた。

ウクライナでは親ロシア政権が崩壊し、これを機にロシアは一方的にクリミアの編入を宣言した。欧米各国はロシアの動きに反発し、ロシアをG8(主要国首脳会議)から締め出した。

中国は、西沙諸島をめぐるベトナムと衝突した。また、APEC(アジア太平洋経済協力会議)を開催し、アジア・太平洋における影響力を強めようとアメリカと会談を重ねた。